



増田 悟 議員



市の人口減少について

問 現在国や地方の課題は、少子化による人口減少問題であると思う。令和4年1月から12月までの国の出生数は79万9728人となり、統計以来初めて80万人を下回ったとのことで、県内市町村が全力で子育てや新婚への補助に力を入れている。若者に選ばれるまちづくり、移住支援についての政策は、各自治体で新婚家庭家賃助成や住宅取得費の一部補助など、また

境町では全小学校への無料先進英語教育に取り組むとのことである。市として人口減を食い止めるにはどんな考えか伺う。

答（市長） 先進事例を参考に課題解消に向け、市全体で力を入れて取り組んでいく。

答（企画政策部長） 移住・定住促進への各種奨励金を交付するなど、市内外から選ばれる魅力ある施策を展開し、対策していきたい。



二セ電話詐欺について

問 被害は高齢者が多く老後の

生活ができなくなると思う。令和元年から4年の被害件数と金額について伺う。注意の呼び掛けや啓発キャンペーン実施についても伺う。

答（市民部長） 古河警察署管内の被害状況は、令和元年が33件、3,077万円、令和2年が9件、452万円、令和3年が21件、2,752万円、令和4年が19件、2,848万円である。古河警察署と連携し、防犯ボランティア団体の協力の下、金融機関やスーパーマーケットを訪問し、イベントでの啓発活動も行っている。

答（産業部長） イベントや市広報で注意喚起を行い、消費者センターでは、相談や出前講座による啓発を実施している。



園部 増治 議員



大堤南部土地区画整理事業と（仮称）南古河駅の早期実現について

問 大堤南部土地区画整理事業は、（仮称）南古河駅の受け皿づくりという観点から平成8年に都市計画決定された。令和4年第1回定例会に地権者121名から区画整理事業推進の請願が提出され採択された。その後、市の動きが見られなかったため、本年5月27日付けで大堤行政区長が中心となり、市長宛てに要望書が提出された。具体的には、

1. 区画整理の範囲を絞り込む
 2. 地権者説明会を実施する
 3. 区画整理事業を立ち上げる
 4. 国・県に新駅の要望をする
 5. 現道拡幅の進捗状況の説明と早急な整備を
- 市民の気運の醸成を図り、魅力あふれるまちづくりを望む。



大堤南部地区まちづくり説明会（7月29日）

答（市長） 請願が採択された後、現在は住環境の改善に向けた取り組みとして、北側集落地区の道路拡幅整備に向け測量などの

説明会を実施し、用地買収に向けた地元説明会、地権者との協議を進めている。大堤南部地区のまちづくりは、道路整備が進むことで地元の合意形成につながることを期待している。要望書の対応はもう少し時間をいただきたいが、意向調査アンケートなどを早急に実施したいと考えている。大堤南部土地区画整理事業予定地で、どのような整備手法がとれるのか要望書の意見を考慮し、地元の意見に耳を傾け、（仮称）南古河駅の設置と歩道を合わせ取り組んでいきたい。（仮称）南古河駅の建設は、より輸送力のある交通機関が生まれ、旧古河の地域の南北を結ぶ大動脈ができるという見方もあるので、まちづくりに関して理想を追い求めていきたい。